

平成 29 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス						
教科目名	英語 A	担当教員	菅原 崇			
学年学科	3年 全学科	通年	必修	2 単位		
学習・教育目標	(C-2) 70% (A-2) 30%					
授業の目標と期待される効果： TOEIC300 点以上獲得を目標に、e-learning 教材『TOEIC 学習システム』を活用し、英文法および語彙の知識を深め、英語コミュニケーション能力を高める。具体的には以下の項目の向上を目指す。 ①英文法の知識を深める ②語彙を増やす ③リーディング能力を高める ④ライティング能力を高める ⑤リスニング能力を高める		成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋平常試験 50 点＋TOEIC-IP テスト 50 点（換算） 学年：前・後期の得点を合計し、得点率（%）で成績をつける。				
		達成度評価の基準： 授業にて行った TOEIC 対策の問題と同レベルの問題を試験で出題、6 割以上の正答レベルまで達していること。 ①コミュニケーションに必要な英文法の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ②コミュニケーションに必要な語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ③コミュニケーションに必要なリーディング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ④コミュニケーションに必要なライティング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。 ⑤コミュニケーションに必要なリスニング能力の度合いを測定する試験で 6 割以上できる。				
授業の進め方とアドバイス：辞書、リスニングに必要なイヤフォン、未知の単語熟語などをメモするノート（および筆記用具）を毎回必ず持参すること。持参しない場合は居眠りやよそ事などと同様「履修の資格なし」とみなす。 授業中に行った TOEIC 模擬問題の確認や単語の修得を家庭学習として毎回行い、次の授業に臨むこと。						
教科書および参考書：e-learning 教材『TOEIC 学習システム』 『新 TOEIC TEST 出る順で学ぶボキャブラリー900』（講談社） 『いきなりスコアアップ! TOEIC(R) テスト 600 点英文法集中講義』（日本経済新聞出版社） その他担当教員が適宜配布するプリント						
授業の概要と予定：前期						A L のレベル
第 1 回：ガイダンス						
第 2 回：TOEIC 練習問題						
第 3 回：TOEIC 練習問題解答ならび解説						
第 4 回：TOEIC 学習システム						A
第 5 回：単語テスト						C
第 6 回：TOEIC 学習システム						A
第 7 回：TOEIC 学習システム						A
第 8 回：単語テスト						C
第 9 回：中間試験						
第 10 回：中間試験解説						
第 11 回：TOEIC 学習システム						A
第 12 回：単語テスト						C
第 13 回：TOEIC 練習問題						C

第14回：TOEIC練習問題解答ならび解説	C
期末試験	
第15回：期末試験解答解説	

授業の概要と予定：後期	ALのレベル
第16回：単語テスト	C
第17回：TOEIC学習システム	A
第18回：TOEIC学習システム	A
第19回：単語テスト	C
第20回：単語テスト	C
第21回：TOEIC練習問題	
第22回：TOEIC練習問題解答ならび解説	
第23回：中間試験	
第24回：中間試験解説	
第25回：TOEIC-IP受験対策	
第26回：TOEIC-IP受験対策	
第27回：TOEIC-IP（要授業変更）	
第28回：単語テスト	C
第29回：単語テスト	C
期末試験	
第30回：フォローアップ（期末試験解答解説など）	

評価（ルーブリック）

達成度 評価項目	理想的な到達 レベルの目安 （優）	標準的な到達 レベルの目安 （良）	未到達 レベルの目安 （不可）
①	コミュニケーションに必要な英文法の知識の獲得の度合いを測定する試験で8割以上できる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識の獲得の度合いを測定する試験で6割以上できる。	コミュニケーションに必要な英文法の知識の獲得の度合いを測定する試験で6割未満である。
②	コミュニケーションに必要な語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で8割以上できる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で6割以上できる。	コミュニケーションに必要な語彙の知識の獲得の度合いを測定する試験で6割未満である。
③	コミュニケーションに必要なリーディング能力の度合いを測定する試験で8割以上できる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力の度合いを測定する試験で6割以上できる。	コミュニケーションに必要なリーディング能力の度合いを測定する試験で6割未満である。

④	コミュニケーションに必要なライティング能力の度合いを測定する試験で8割以上できる。	コミュニケーションに必要なライティング能力の度合いを測定する試験で6割以上できる。	コミュニケーションに必要なライティング能力の度合いを測定する試験で6割未満である。
⑤	コミュニケーションに必要なリスニング能力の度合いを測定する試験で8割以上できる。	コミュニケーションに必要なリスニング能力の度合いを測定する試験で6割以上できる。	コミュニケーションに必要なリスニング能力の度合いを測定する試験で6割未満である。